

高市内閣の改憲・軍拡策動への対抗

福島県九条の会 共同代表

今野 順夫

2025年10月21日に発足した高市内閣は、2026年度の予算を審議することなく、1月23日に強行的に衆議院を解散し、2月8日の総選挙を執行した。高い内閣支持率をバックに、クーデター的な解散と評価されている。この結果、高市「自民党」は、316議席と118議席増と大勝し、改憲、軍事費増額、戦争準備の加速化を進めている。

3月20日(日本時間)、高市早苗首相は、トランプ大統領と日米首脳会談を行った。ところが、高市首相は首脳会談で、アメリカのイラン攻撃を国連憲章違反と一切批判することなく、トランプ大統領を「世界中に平和と繁栄をもたらせるのはドナルド



今野 共同代表

(トランプ大統領)だけ」などと、口を極めて持ち上げ、「諸外国に働きかけてしっかり応援したい」と、全面的にトランプ政権を応援する驚くべき姿勢を示した。トランプ大統領自身、「奇襲攻撃だった」と明言したように、これが国連憲章違反の先制攻撃であることは明白である。

国際法違反の蛮行の数々を繰り広げるトランプ大統領に追随し、媚びへつらう高市首相の態度は、世界でも異常であり、世界に恥をさらすものと言わなければならない。戦争のない世界をつくる先頭に立つことを誓った日本国憲法を根本から蹂躪する、許しがたい行為である。

トランプ大統領は、「日本からは多大な支援があり、NATOとは違う」「我々は日本に4万5千人の兵士を駐留させ、多額の資金を投じている」とし、日本への石油の90%以上は、(ホルムズ)海峡を通ると聞いており、それは我々に協力する大きな理由となる。」とし、露骨にこの無法な戦争への日本の軍事的貢献を求めてきた。これに対して外務省の日米首脳会談の発表文は、「日米同盟の抑止力・対処力を一層強化していくべく、ミサイルの共同開発・共同生産を含む幅広い安全保障協力を進めていくことで一致した」としている。これをテコに、米政府が公然と求めている軍事費GDP比5%(30兆円)規模めざす大軍拡の推進などの日米軍事同盟強化が、いっそう強力に推し進められる危険がある。危険極まりない道である。

憲法改悪と大軍拡への道は、若い高校生なども含め全世代に、日本を危険な道に引きずりこむ行為として、危機感を呼び起こしている。最近、九条の会への入会を求め、その連絡先を探している人々が出ている。絶え間ない戦前の軍事的動きに対して、戦後80年、平和な暮らしを守りえたのは、憲法9条をはじめとした日本国憲法の平和主義・基本的人権尊重・国民主権の制度に基づく。しかし、この世界に誇る我が国の憲法が、今まさに壊滅の危機に晒されている。憲法改正は、最終的には国民の意思による。まさに「九条の会」の出番である。地域くまなく九条の会を、網の目のように作り、拡大して、最大限の力を発揮して、九条を守らなければならない。現在の闘いが、将来を形作る。平和を願う多くの国民、そして世界の平和愛好勢力と団結して、立ち上がろう。

2025年度の活動を振り返って

福島県九条の会事務局長

加藤衛雄

《憲法9条の碑建立運動》

岡部淳一さん(石材業・古殿町議会議員)から石材提供の申し出を受けて開始された憲法9条の碑建立運動は、事務局とWGによる準備作業を経て9月末に実行委員会(県北地域の「単位九条の会」と民主団体・法人等 22 団体が参加)が発足し、16名の呼びかけ人と福島県労連など5団体の賛同を得て、2026年5月3日の除幕式を目標に募金活動を行ってきました。

3月に開催した第4回実行委員会で碑のデザインを確定し、碑の加工・設置を発注するなど具体的な作業が進んでいます。碑の表面に、「憲法九条はみんなの宝!」「日本国憲法第2章全文」とハトのイラスト3点を刻み、裏面には「平和の誓いをかたちに」と題した建立趣旨(黒御影石板)を取り付けます。

4月12日現在、建立募金は437の個人・団体から1,801,736円が寄せられています。除幕式は、建立場所となる福島市渡利・瑞龍寺において5月3日午前10時から、ジャーナリストの伊藤千尋さんを迎えて行う予定です。

《九条の会東北交流会の開催準備》

「九条の会東北交流会」の2026年当番県として準備を進め、5月30日午後1時から福島市の福島テルサで開催することになりました。会場参加は90人を予定。YouTubeによるリアル配信を行います。

昨年の参院選での極右勢力の台頭、9条明文改憲を掲げる自民・維新連立政権の発足、通常国会冒頭の解散・総選挙で自民党が3分の2を超える議席確保など、九条の会運動が正念場を迎えるなかでの東北交流会となります。

記念講演の講師に渡辺 治さん(一橋大学名誉教授、九条の会事務局)を招き、「高市政権による9条改憲・戦争準備の企てに、いかに立ち向かうか」と題して講演していただきます。

《オンライン憲法塾の開催》

今野共同代表が企画・運営する「オンライン憲法塾」を、4月7日(第8回)から3月19日(第19回)まで12回開催しました。2025年度の参加者は延べ364名となりました。

《大軍拡反対請願署名の取り組み》

「大軍拡反対請願署名」の取り組みは、三春九条の会が新潟県在住の知人を通じた130筆を含む220筆の署名を中央に届けるなどの先進例があったものの、県内の状況把握ができない現状にあります。

3月に入り、「自分にできることを何かしたい」と署名用紙の送付依頼が事務局に寄せられました。2026年4月から取り組みが開始された新署名「私たちは戦争につながる憲法改悪に反対します」を広範な県民の中に広げましょう。

～「憲法9条の碑」建立除幕式のご案内～

「憲法9条の碑」の除幕式を下記日程で行います。

日時:2026年5月3日(日曜・祝日) 午前10:00～ (40分程度)
場所:福島市渡利・瑞龍寺 (ずいりゅうじ)

〒960-8141 福島県福島市渡利字東土入 12

申し込み不要:趣旨に賛同される方であればどなたでも自由に参加できます。

参加費等ありません、無料です。

除幕式 次第

- 1 開式(午前10時)
- 2 主催者あいさつ 今野順夫実行委員会代表
- 3 瑞龍寺住職あいさつ 亘理正明住職
- 4 除幕の儀
- 5 伊藤千尋さん(ジャーナリスト) ミニ講演
- 6 閉式(午前10時40分)



拡大



会場までの交通案内

自家用車:国道114号渡利トンネルの手前 「瑞龍寺」 駐車場有:無料

福島交通バス:JR 福島駅東口 8番乗り場 渡利循環線(9:00発 乗車時間20分)

「岡の内」下車 運賃片道270円 ※バスは1時間に1本程度

「瑞龍寺」まで 徒歩3分

第15回 九条の会東北交流会 in 福島

2026年5月30日(土) 13:00~16:35
福島テルサ 3階会議室「あぶくま」(定員90名)



第1部 記念講演 13:00~

講師 渡辺 治さん(一橋大学名誉教授、九条の会事務局)

テーマ 「高市政権による9条改憲・戦争準備
の企てに、いかに立ち向かうか」

第2部 各県交流 15:10~

東北の各県から、平和を守る運動の取り組みや
ユニークな九条の会活動などを紹介しあいます。

講師の渡辺治さんには、昨年11月の段階で「参院選後の政治状況(極右・排外主義の台頭、自民・維新の連立政権発足等)と明文改憲を許さず大軍拡など戦争体制づくりに反対するたたかい」をテーマに講演をお願いしていましたが、突然の国会解散・総選挙の結果、自民党単独で3分の2を確保するなど、衆議院での政党配置が激変しました。

九条の会運動が正念場を迎えるなか、渡辺治さんの講演は私たちに大きな力を与えてくれるものと期待します。

交流会を YouTube でライブ配信します。

<https://youtube.com/live/5Ii1pfHK8Z8>

回線の状況によりご視聴いただけない場合もありますので、あらかじめご了承ください。



会場の福島テルサには、主に福島市内と県北地域の皆さまに参加していただき、県中・県南・会津・いわきの皆さまには、YouTube 視聴を呼びかけます。

青森、岩手、宮城、秋田、山形の各県は、YouTube 視聴が基本参加形態となります。

連絡先 福島県九条の会(九条の会東北交流会事務局) fks9jou@gmail.com

〒960-8101 福島市上町5-13 ライオンズマンション上町706号室

連絡先電話(事務局長携帯) 090-2981-6101

発行元 福島県九条の会
発行責任者 福島県九条の会共同代表 今野順夫
編集担当 福島県九条の会事務局
加藤衛雄、菅野家弘、渡部幸一、長谷川秀輝
※投稿歓迎 ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

連絡先: 福島県九条の会
事務局長 加藤衛雄
〒960-8101
福島市上町5-13 LM上町706
携帯 090-2981-6101
メールアドレスが変わりました!
E-mail: fks9jou@gmail.com